



上記の2つに対し、「**体力の向上**」(資料6)の教員の評価が低い。特に業前マラソンは半数以上の教員が、目標をもたせることがあまりできていないと回答している。本年度より業前マラソンの実施方法を一部変更して行っていることが関わ

っていると考えられる。一方で、児童の業前マラソンに対する項目については、49.5%が「目標をもって取り組んでいる」と回答し、教師と児童の意識に差がある。運動場を走るときに何を意識しタイムトライアルに向かわせるのか、また、その目標を教師と児童が共有できるようにすることが必要である。本校の研究の柱である取り組みであるので、成果が見られるような取り組みとなるよう検討していきたい。

信頼される学校づくりのための情報発信 (資料7)については、教員、児童、保護者とも概ねできている結果となっている。しかし、「学級の指導方針はどこに載っているのか」「ブログなどでもっと学級の様子が知りたい」等の意見もあり、文書等で指導方針を保護者に知らせるとともに、学年だよりやブログ等で普段の授業の様子や児童の成長を知らせていく必要がある。

